

平成23年度 傾斜的研究費（全学分）研究報告書

研究代表者 所属	産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻	フリガナ 研究代表者氏名	コマ ヒロシ 小山 裕司	職	教授
研究分担者所 属	情報アーキテクチャ専攻	研究分担者氏名	中鉢 欣秀	職	准教授
	情報アーキテクチャ専攻		土屋 陽介		助教

研究課題名	高度専門職のコミュニティ支援ツールに関する研究及び開発				
研究実績の概要（600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。）	<p>本学は、高度専門職を養成するための専門職大学院である。学生及び修了生は専門分野を持ち、社会で活躍している社会人である。彼らは、専門分野での専門職の相互コネクション（人脈）を構築することを希望している。本研究では、本学のように、小規模で、歴史が浅い大学院大学の学生及び修了生ができるだけ効率的にまた効果的に、相互にコネクションを構築することができる仕組みを、既存のFacebook, Twitter, LinkedIn等のソーシャルメディアを活用して実現した。また、これらと連携し、職歴、専門分野、活動等を横断的に取り扱うことができるシステムを開発した。</p> <p>以下に特長を整理する。</p> <p>(1) Facebook等の普及しているソーシャルメディアを活用しているため、利用者が新規にアカウントを取得する手間や、使用法を新たに修得する必要が無い。</p> <p>(2) 既存のソーシャルメディアに準備されている機能はできるだけ流用しているので、開発コストを軽減することができた。</p> <p>(3) 利用者各自のソーシャルグラフの範囲外の相手を、在籍年時、専攻、専門分野等から検索し、コネクションを構築することができる。また、複数のソーシャルアカウントの情報が集約されているので、日常使っているソーシャルメディアが違う相手を発見することができる。</p> <p>(4) 専門職を対象に、職務経歴をプロジェクト単位で登録することができる。実際の経験してきた業務の内容、規模、技術、成否等から、専門職の専門分野、レベルを示すことができ、今後のキャリアアップに結び付けることが期待できる。</p> <p>今後の課題には (1) 利用者からの要望を反映する、(2) 利用者の範囲を拡げる、(3) 専門職・技術者を雇用する側の企業からの参加を考慮する、(4) 知識・スキルを取り扱う機能を準備する等がある。</p>				
学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルメディアを活用したコネクション構築支援」、小山裕司・中鉢欣秀・土屋陽介、情報処理学会 第112回コンピュータと教育研究会（CE112）、平成23年12月 ・「産業技術大学院大学のICT環境の運用と課題」、中鉢欣秀・小山裕司・石島辰太郎、情報処理学会 インターネットと運用技術（IOT16）、平成24年3月 				
論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）	<ul style="list-style-type: none"> ・「外部アカウント認証を使った本人確認付き利用者認証の試み」、小山裕司・中鉢欣秀、産業技術大学院大学 紀要 第3号 平成24年2月 				
科学研究費補助金への応募状況、採択状況	無し				
国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況	無し				
その他社会貢献 [公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]	<ul style="list-style-type: none"> ・品川区 市民講座「ソーシャルメディアの基礎と活用—Facebook, Twitter等の現状から企業での活用」 ・中野区 市民講座「ソーシャルメディアの動向と活用」 				
研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況	無し				
工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類・番号	出願年月日	取得年月日
無し					